

狛総安発第 000404 号

令和 7 年 1 月 29 日

原発と気候危機を考える会

西尾 真人 様

狛江市長

松原 俊雄



「防災フェアでの自衛隊による”戦争体験”への「抗議と申入れに対する回答」への再申入れ」に対する回答について

令和 7 年 1 月 10 日付けで提出のありました「防災フェアでの自衛隊による”戦争体験”への「抗議と申入れに対する回答」への再申入れ」について、別紙のとおり回答いたします。

1 自衛隊バーチャルリアリティ体験が防災訓練とは無関係であるとのこと指摘について

「防災フェアでの自衛隊による“戦争体験”に抗議し、今後の市の行事に自衛隊を参加させないように求めます」に対する回答について(令和6年12月27日付け狛総安発第000354号)」と一部内容が重複しますが、今回開催した防災フェアは、防災活動を周知するとともに各関係機関がどのような業務を所掌し、普段はどのような活動を行っているのか等を市民の皆様にPRいただく機会でもあります。このため、防災と直接関連しない内容が含まれ得ることも想定しているところです。

防災フェアにおいて自衛隊が出展した戦闘機等のバーチャルリアリティ体験が戦争を想起させるものであり、防災訓練と無関係であったというご指摘は受け止め、今後の内容については随時協議、調整しながら市民の皆様様の安心安全確保や狛江市の減災につなげられるよう進めます。

2 自衛隊による出展内容について

防災訓練等における関係機関に参加いただく目的は、まず、狛江市で大きな災害が発生したときに、各関係機関がどのように動き、どのような形で狛江市と連携するのか、各機関の役割や市へ支援いただく内容等をわかりやすくお伝えする場であると考えております。

今回の防災フェアでは、ご指摘のあった「自衛隊バーチャルリアリティ体験」のほか、自衛隊が被災地派遣の際に使用する1/2小型トラックの紹介及び乗車体験のコーナーを設けるとともに、自衛隊職員に対して被災地支援活動の内容を質問できる場としました。この点については目的と合致した内容であったと考えます。

3 戦闘訓練、戦争体験をさせるイベントの実施について

前述のとおり、今回の防災フェアは防災活動を周知するとともに、災害時における各関係機関の役割等をお伝えすることを目的として開催しています。自衛隊による出展内容の一部が戦争を想起させるものであったというご指摘は貴重な意見として受け止め、今後協力いただく際は内容について協議・調整してまいります。防災フェアが戦闘訓練、戦争体験をさせることを目的としたイベントではないことをご理解ください。

4 自衛隊に対する協力について

自衛隊は、地方公共団体などと連携・協力して、災害時における救助活動や被災者支援

等を実施しています。実際に、令和元年東日本台風で狛江市に被害が発生した際は、西和泉地区を中心に泥土等除去や道路啓開活動に従事しています。

このことを踏まえると、災害対策という観点では、今後発生が懸念される首都直下地震や近年甚大化傾向にある風水害等による市内での被害を軽減するため、自衛隊とのさらなる連携が重要となります。

このことから、今後も自衛隊とは平時の事業から協力関係を築き、顔の見える関係の構築を進め、相互の特性や事情の把握に努めるとともに、大規模な災害が発生した際は共に連携した活動を展開し、市の減災につなげてまいります。